

平成31年度県立高等学校入学者選抜学力検査

国語

■ねらい、出題の内容、今後の学習指導のために

㊦ 言語事項に関する問題

【ねらい】

中学校までに学習した漢字や四字熟語を中心とした、国語の特質に関する事項についての理解度、定着度をみる問題です。

【出題の内容】

- 1 漢字の書き取りに関する問題です。
- 2 四字熟語に関する問題です。

【今後の学習指導のために】

漢字については、多様な語句の形で使ったり、様々な文脈の中で使ったりすることができるように、「書くこと」の指導と関連させ、工夫して指導することが重要です。四字熟語については、意味を正しく理解するとともに、組み立て方や語源を探る楽しさが感じられる学習活動を通して、言葉への興味・関心を高める指導が有効です。

語彙を豊かにすることは国語の基本です。漢字に関する事項と言葉の特徴やきまりに関する事項について、基礎的な力を身に付ける指導が求められます。

㊧ 韻文

【ねらい】

複数の俳句を提示し、理解力と鑑賞力をみる問題です。今年度は、「風」を詠んだ俳句からの出題です。

【出典】

芥川龍之介、飯田蛇笏、青木月斗、水原秋櫻子、夏石番矢、正岡子規の俳句

【出題の内容】

- 1 基本的な俳句についての知識をもとに、短歌に詠まれた心情を読み取る問題です。
- 2 基本的な俳句についての知識をもとに、短歌に詠まれた情景を読み取る問題です。
- 3 鑑賞文をもとに、俳句に詠まれた情景や心情を読み取る問題です。

【今後の学習指導のために】

韻文の指導の際には、言葉に込められたイメージを読み味わい、作者の思いや情景を読み取る力を養うことが大切です。一つのテーマを決め、複数の作品を関連付けて指導することも有効です。

㊨ 古典

【ねらい】

基本的な古典の読解を通して、基礎的な知識や読解力をみる問題です。

【出典】

「戦国策」

【出題の内容】

- 1 古典の基礎である歴史的仮名遣いの問題です。
- 2 本文の内容に関する会話文を完成させることにより、本文の内容の理解を確認する問題です。
- 3 登場人物の考えについて考察させることにより、本文の理解を確認する問題です。

【今後の学習指導のために】

古典に親しむ態度を育て、音読などを通して話の展開や内容を根拠を持って読み取る力を身に付けさせることが大切です。我が国の文化や伝統に親しむ態度を育てることも必要です。

㊩ 文学的文章

【ねらい】

文学的な文章の読解を通して、場面の展開や心情を読み取る力、表現力などをみる問題です。

【出典】

落合由佳『流星と稲妻』

【出題の内容】

- 1 漢字の読み方に関する問題です。
- 2 場面の状況を理解し、登場人物の心情を適切に読み取る問題です。
- 3 登場人物の発言の内容を適切に理解し、定められた字数でまとめる問題です。
- 4 登場人物の心情を文章の展開に沿って適切に読み取る問題です。
- 5 登場人物の発言や文章全体の展開を踏まえ、登場人物の心情を適切に読み取り、定められた字数でまとめる問題です。
- 6 本文の表現効果を考えることを通して、本文についての理解を確認する問題です。

【今後の学習指導のために】

文学的文章の読解の指導では、人物の動作や会話、情景描写などを根拠に登場人物の心情を正しく読み取る力を身に付けさせることが求められます。さまざまな表現の効果について十分に読み味わうことも大切です。また、授業において、朗読や意見の交流などの言語活動を充実させたり、表

現上の差異を考えさせたりすることも求められます。

五 説明的文章

【ねらい】

説明的文章の読解を通して、論理的な思考力や読解力をみる問題です。

【出典】

永田和宏『知の体力』

【出題の内容】

- 1 漢字の読み方に関する問題です。
- 2 品詞の識別に関する文法の問題です。
- 3 対応する表現を基に、文章の内容を適切に読み取る問題です。
- 4 文章全体の前半部を整理して、内容を読み取る問題です。
- 5 文章全体における、ある段落の働きを確認する問題です。
- 6 文章全体から筆者の考えを適切に捉え、定められた字数でまとめる問題です。

【今後の学習指導のために】

説明的文章を読解するには、論理の展開を把握し、文章の要旨を捉える力を身に付けさせることが求められます。また、読み取った内容を的確に表現する力も求められており、「読むこと」と「書くこと」のバランスのとれた指導が望まれます。

六 条件作文

【ねらい】

文章を比較することで表現の効果に気づき、そのことを踏まえて自分の考えを書くことを通して、論理的な思考力や表現力を総合的にみる問題です。

【出題の内容】

二つの文章を比較して、読み手にとっても分かりやすく、説得力をもつ文章を作成するうえで工夫されている点について適切に理解し、それを踏まえて、「文章を書くうえで大切なこと」についての自分の考えや意見を述べる問題です。

【今後の学習指導のために】

文章の表現の仕方や構成など、書かれたものの特性を理解した上で内容を読み取り、そこに表されている事実や自分自身の知見を根拠として、自分の考えや意見を書く力を身に付けさせる指導が望まれます。

■まとめ

国語を適切に表現し正確に理解する能力の育成のためには、まず基礎的・基本的事項の確実な習得が求められます。そして、「話す・聞く」「書く」「読む」という各領域相互の関連を図り、言語活動の充実に努めながら、計画的に指導することが大切です。

■正解（次頁）

■正答率・部分正答率（％）

| 国 語 | 番号 | 大 | | 一 | | | | 二 | | | |
|--------|----|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | 小 | 1 | | | | 2 | 1 | 2 | 3 | |
| | | | (1) | (2) | (3) | (4) | | | | (1) | (2) |
| | | 正答率 | 89.8 | 94.8 | 82.7 | 79.1 | 60.2 | 89.1 | 53.2 | 93.4 | 84.8 |
| | | 部分正答率 | | | | | | | | | |

| 三 | | | | 四 | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 1 | 2 | | 3 | 1 | | 2 | 3 | 4 | | 5 | 6 |
| | (1) | (2) | | A | B | | | (1) | (2) | | |
| 93.9 | 76.1 | 30.0 | 46.1 | 95.0 | 97.7 | 90.2 | 20.0 | 68.6 | 66.1 | 2.0 | 82.0 |
| | | 17.0 | | | | | 19.8 | | | 46.6 | |

| 五 | | | | | | 六 | | |
|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|
| 1 | | 2 | 3 | 4 | | 5 | 6 | |
| A | B | | | (1) | (2) | | | |
| 96.4 | 95.2 | 76.8 | 76.1 | 6.8 | 35.5 | 60.7 | 6.1 | 13.0 |
| | | | | 5.2 | | | 36.8 | 70.5 |

| 四 | | | | | | 三 | | | 二 | | | 一 | | | | 大 小 | 問 題 | | | |
|---|---|------|-----|-----------------------------|---|---------|---|---|-------|-----|---|------|---|---|---|--------|--------|-------|------|--------|
| 6 | 5 | 4 | | 3 | 2 | 1 | | 3 | 2 | 1 | 2 | 1 | | | | | | | | |
| エ | 自分以上に父親が必死になることで意欲がわかずつまらなくなると感じ、父親の力を借りずに自分の力で取り組もうと思ったから。 | (2) | (1) | 父親に自分の気持ちを嫉妬だと決めつけられたということ。 | オ | B | A | ウ | 市に虎あり | いわば | ウ | 吹き割る | A | D | イ | 配置 | 順序 | 照(らす) | 刻(む) | 正 解 |
| | | 意思表示 | | | | おとず(れる) | | | | | | | | | | | | | | |

| 六 | 五 | | | | | | | 大 小 | 問 題 |
|------------------------|---|---|-------|-------------------------|---|---|------|--------|--------|
| | 6 | 5 | 4 | | 3 | 2 | 1 | | |
| 与えられた条件のもとで、述べられていること。 | 送り手には言語化しきれなかった思考や感情があるので、受け手はその「間」を読み取り自分の内部に再現しようとする努力すること。 | オ | (2) | (1) | イ | ウ | B | A | 正 解 |
| | | | 詩歌や文学 | 数え切れないほど存在したはずの別の表現の可能性 | | | も(れ) | | |